

東京パラリンピックを目指すアスリートの皆さんへ ～半年前に寄せて～

2021年8月24日の開会式まで半年となりました。

2度目となるパラリンピック半年前、どのような気持ちでこの日を迎えているでしょうか。

10都県では緊急事態宣言中ということもあり、不安な日々を過ごしているかもしれません。医療関係者の方々からワクチン接種が始まるなど、少しずつではありますが状況が好転する要素も出てきています。

そのような中、多くの関係者への感謝の思い、スポーツができるありがたさを強く感じられているのではないのでしょうか。

このような時だからこそ、スポーツの持つ可能性、パラリンピックの意義や精神について、改めて考える機会とも捉えていただきたいと思います。

従来より申し上げているとおり、JPCは国、東京都、東京2020組織委員会、JOCと連携をしながら、安全安心な大会の開催に向けて連携を強化しています。

スポーツ庁の室伏長官、JOCの山下会長、組織委員会の橋本会長、そして私もアスリート出身者です。アスリートの皆さんの気持ちに寄り添いながら、このコロナ禍の大会を無事に成功させたいと心から思っています。

大会の成功とはアスリートが主役として輝ける大会を開催することだと考えています。そのために、関係機関と緊密な連携の下、全力で準備に取り組んでいきます。

いま、アスリートの皆さんにできること、それはやはり競技活動に専念していただくことだと思っています。アスリートが最も輝ける瞬間、それは最高のパフォーマンスを発揮した瞬間の姿です。皆さんの思いを是非トレーニングする姿、競技大会でのパフォーマンスに込めて、惜しみなく表現していただければと思います。

「できない」をどうすれば「できる」に変えられるかを考え突き進む姿にこそ、パラリンピックの魅力が凝縮されていると考えています。

今後もJPCは競技団体と連携をしながら、皆さんが競技に集中できる環境をサポートしていきます。

先日、東京2020組織委員会よりアスリート向けのプレイブックが公表されました。

皆さんの不安を少しでも軽減できるよう、JPCは今後も迅速かつ正確な情報提供を心掛けていきます。

「超えろ、みんなで。」

多様性を認め合い、それぞれの個性が輝ける社会を目指して、その大きな一歩となる東京2020パラリンピックに向けて着実に前進していきましょう。

2021年2月24日

東京2020パラリンピック競技大会日本代表選手団

団長 河合 純一